

2024年10月15日

### 組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

- JAグループは、食と農を基軸として地域に根ざした協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。当組合では、この理念のもと、「組合員・利用者本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するための具体的な取組みを実践しており、今回その取組状況を公表いたします。
- また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I 」）も同時に公表いたします。

八代地域農業協同組合

# I.取組状況

## 1 お客さまへの最適な商品提供

【原則2本文および(注)、原則3(注)原則6本文および(注2、3)】

- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定し、下記商品選定の考え方を基準とし、「JAバンクセレクトファンド」を取扱商品としております。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより商品数が増減することがあります。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2024年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1	4
株式型	3	5
REIT型	1	2
バランス型	7	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>

- ①長期投資を前提とした商品
- ②相対的に良好な運用実績
- ③過去の運用成績の再現性が認められる
- ④良心的な手数料水準
- ⑤過度な分配を追求する商品ではないこと

※商品選定の考え方：JAバンクHP  
<https://www.jabank.org/sp/tameru/tousi/sintaku/select/>

# I.取組状況

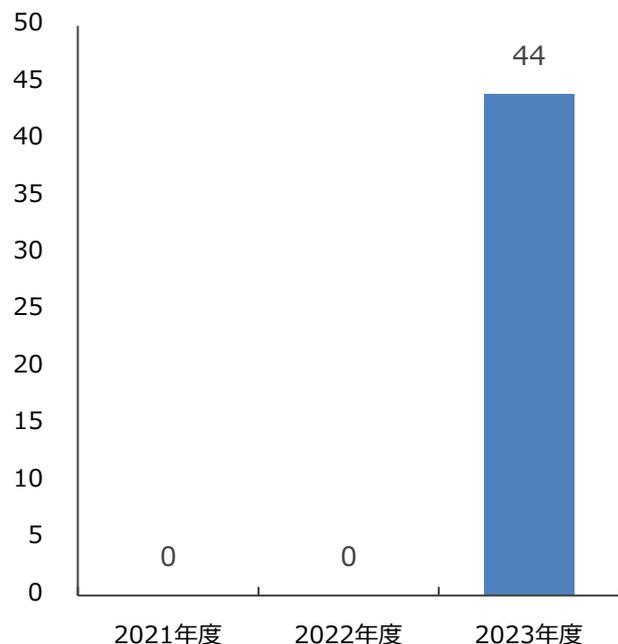
## 2 お客さま本位のご提案と情報提供①

【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、  
原則6本文および(注1、2、4、5)】

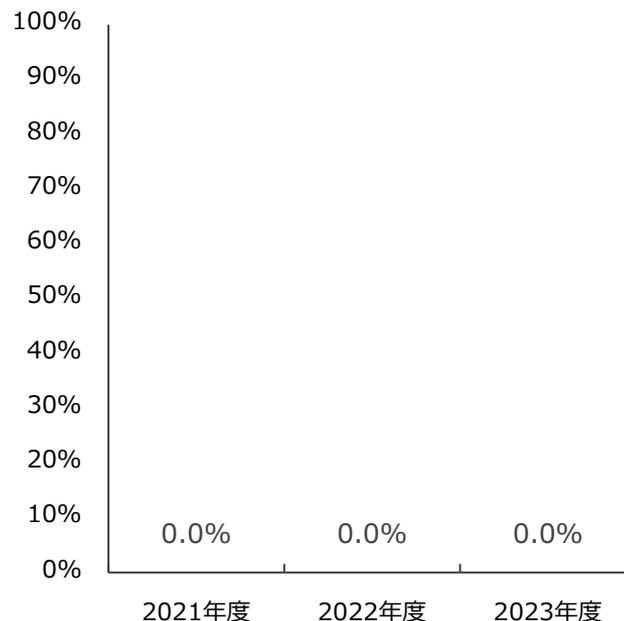
- お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて、お客様にふさわしい商品をご提案いたします。また、お客様のライフイベントや知識・経験・資産の状況やニーズに対応し、一人ひとりに寄り添った提案をいたします。
- アフターフォローについては、お客さまの資産の状況・投資目的・リスク許容度の変更がないか対話を通じて確認を行い、その時々に必要な情報を提供します。
- 「毎月分配型ファンド」を選択されるお客さまの比率は0%となっております。

<投信つみたて契約件数の推移>

(件)



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



# I. 取組状況

## 2 お客さま本位の提案と情報提供②

【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1、2、4、5）】

- お客さまの投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。お客様の投資・商品選択の判断に資するようJAバンクセレクトファンドマップを作成し、商品のリスク特性について分かりやすく説明します。
- お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するよう、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。お客さまへの説明時には、「JAバンクセレクトファンドマップ」を活用し、わかりやすく提示いたします。

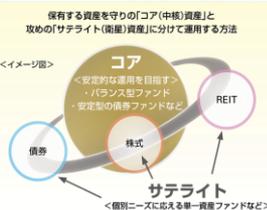
### JAバンク セレクトファンドマップ

		安定型	中間型(安定～中間)	中間型(中間～積極)	積極型
リスク・リターン		小			大
コア	バランス	シンプル プロフェッショナル	農林中金<パートナーズ> 日米6資産分散ファンド(資産形成コース) 為替ヘッジ スイッチング可 セゾン・グローバルバランスファンド HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型) 為替ヘッジ HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型) 為替ヘッジ	農林中金<パートナーズ> 日米6資産分散ファンド(資産形成コース) 為替ヘッジ スイッチング可 セゾン・グローバルバランスファンド HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型) 為替ヘッジ	
	債券	シンプル プロフェッショナル	J A日本債券ファンド Oneニッポン債券オープン HSBC世界資産選抜 種まきコース(安定運用型) 農林中金<パートナーズ> 先進国債券ファンド(部分為替ヘッジあり)	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型) スイッチング可 農林中金<パートナーズ> 先進国債券ファンド(為替ヘッジなし)	
サテライト	債券	シンプル プロフェッショナル			
	株式	シンプル プロフェッショナル			農中日経225オープン 農林中金<パートナーズ> つみたて日本株式 日経225 農林中金<パートナーズ> つみたて米国株式 S&P500 農林中金<パートナーズ> 米国株式 S&P500インデックスファンド 農林中金<パートナーズ> おおふねJAPAN(日本選抜) 農林中金<パートナーズ> 長期厳選投資 おおふね ペイリー・ギフォード 世界長期成長株ファンド セゾン資産形成の達人ファンド
コーポレート	シンプル	NISA(成長投資) 対象ファンド NISA(つみたて) NISA(つみたて投資枠) 対象ファンド 為替ヘッジあり 年6回以上の分配 目標配比率に応じた分配(資金払出し)			

左からリスクの小さい順番に並んでいるんだね!

自分のスタイルに合ったファンドが分かるね!

#### ⑥ コア・サテライト戦略について



#### ⑦ JAバンクのセレクトファンド

JAバンクのセレクトファンドは、国内の約6,000本の中から、**JAバンクが独自の基準で**長期投資に適した投資信託を厳選しました。

##### 主な選定基準等

- 1 長期投資** 長期投資を前提とした投資信託であること
- 2 手数料** 手数料が良心的な水準であること
- 3 運用実績** 過去の運用実績が相対的に良好であること
- 4 将来性** 資産形成には、過度に分配金を捻出する投資信託ではないこと
- 5 運用体制** 運用体制について、外部機関の評価を得ていること

お客さまの長期投資にとって最善の提案を日用し、投資信託を厳選しているんだね!

# I.取組状況

## 3 利益相反の適切な管理

【原則3本文および（注）】

- ・お客さまの利益が不当に害されることのないよう、農業協同組合法、金融商品取引法および当JAで定めた「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- ・営業部門から独立した利益相反管理統括部署を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- ・以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。

### ①お客さまと当JA等との間の利益が相反する類型

（例：秘密保持契約を締結して特定部署が入手したお客さまの情報が他部署に漏洩し、他の取引に利用される場合。）

### ②当JA等の「お客さまと他のお客さま」との間の利益が相反する類型

（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合。）

## 4 お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

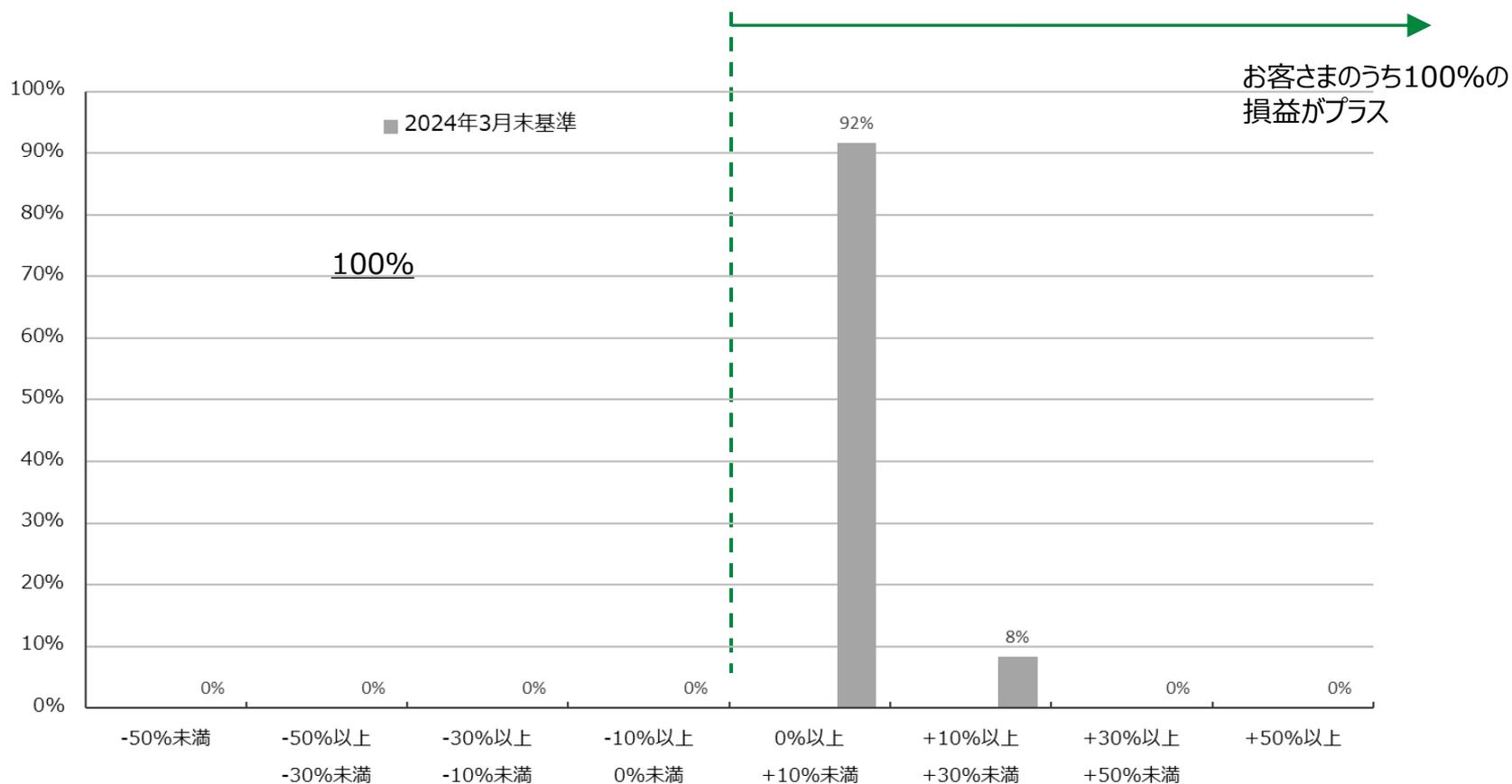
【原則2本文および（注）、原則6（注5）、原則7本文および（注）】

- ・研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。人材育成にあたっては、農林中金アカデミーが開催する専門家による研修受講をおこないます。併せて、運用会社による研修会等も受講します。また、資産形成・運用に関する資格取得の推進を図り、お客さまに適切な情報を提供できる職員を育成します。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきたことにより、2024年3月末時点では全体の100%のお客さまの損益がプラスとなりました。

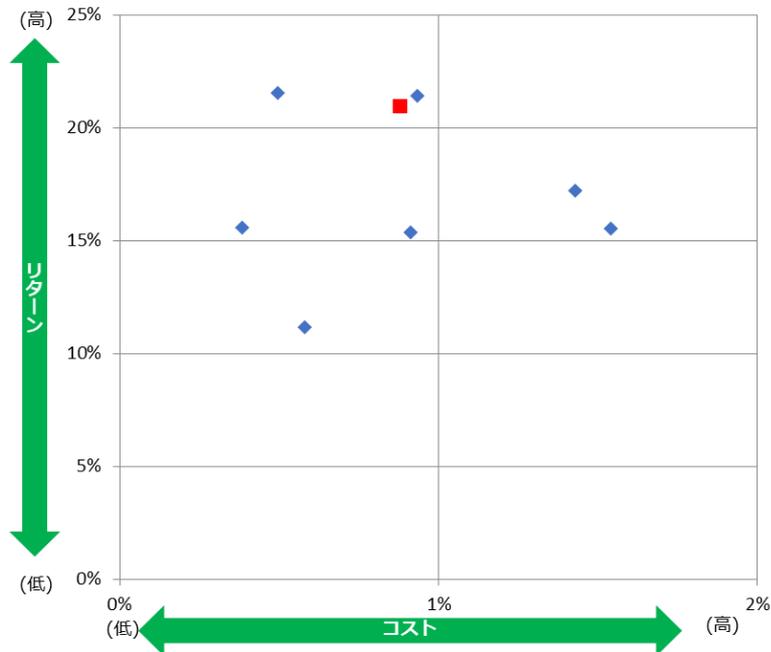


## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

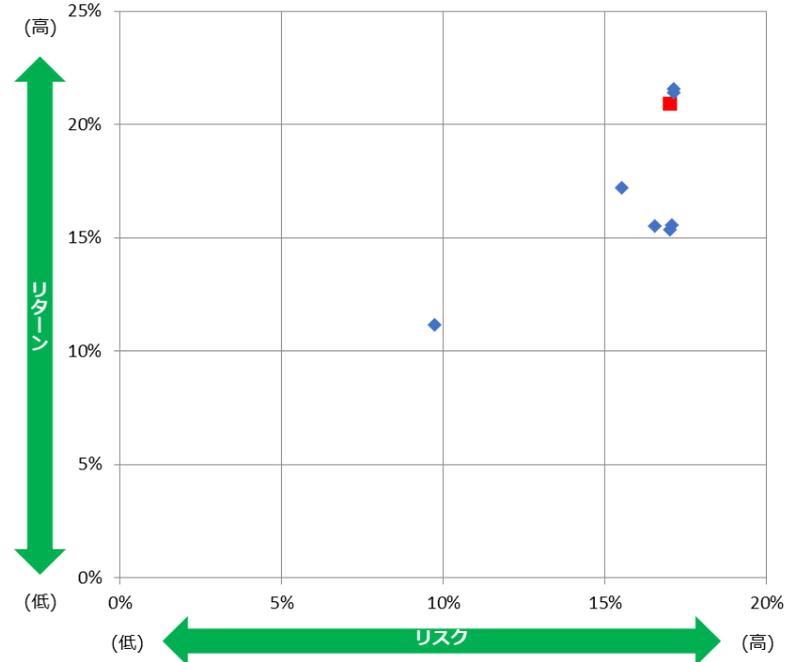
### 2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

- J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- 当 J Aでは2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.88%、平均リスク17.01%に対して、平均リターンは20.93%でした。

<預り残高上位20銘柄のコスト・リターン>



<預り残高上位20銘柄のリスク・リターン>



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。  
※ 赤い点は平均値を示しています。

## Ⅱ.比較可能な共通 K P I

### 3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたてNISA米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	21.55%	17.11%	0.50%
3	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.57%	17.06%	0.39%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	17.22%	15.52%	1.43%
5	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信 (株)	11.15%	9.72%	0.58%
6	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント (株)	15.34%	17.00%	0.91%
7	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信 (株)	15.53%	16.54%	1.54%
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		20.93%	17.01%	0.88%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は7本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。